

3 道徳の時間に生かす 指導方法の工夫

(1) 読み物資料の利用

指導のポイント

- 生徒の興味や関心、読解力などに配慮して適切な資料を選択します。
- 学習指導過程における読み物の位置付けや提示の工夫、ねらいに迫るための利用の仕方を吟味するなど、指導の効果を高めるように配慮することが大切です。

◎ 読み物資料は・・・

- ・ 読み物資料には、生徒に深い感銘を与え、道徳的な心情を豊かにしたり、道徳的判断力を高め、人間としての生き方についての自覚を深めたりすることなどに適したものが多くあります。
- ・ もう一人の自分と出会う事例です。資料を読解するのではなく、主人公の生き方について、一緒に考えたり悩んだりして、いろいろなものの見方、考え方、感じ方が出せるようにしなくてはなりません。



Point

- 資料をよく吟味しましょう。
 - ・ ねらいとする価値に合っている資料か。
 - ・ 生徒の関心や意欲を高められる資料か。
 - ・ 生徒が十分に理解できる資料か。

留意点

- 資料を教えるのではなく、資料をとおして、生徒一人一人の望ましい価値観を育むことが道徳的実践力の育成につながります。
- 年間指導計画に位置付けられていないものを授業で扱うときは、道徳主任などの道徳教育推進教師、学年の先生などと十分検討をしてから行いましょう。

資料紹介

【文部科学省】



◇「私たちの道徳」

生徒が道徳的価値について自ら考え、実際に行動できるようになることをねらいとして作成された道徳教育用教材です。

生徒の発達段階を踏まえ、先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げるとともに、いじめ問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容などが資料として掲載されています。

ただし、読み物資料はすべての内容項目に対応しているわけではありません。

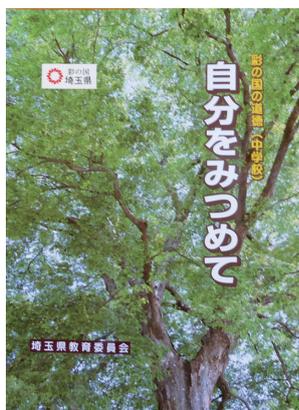


◇「中学校道徳 読み物資料集」

学習指導要領において平成20年に新設された内容、明確にされた指導内容の重点化項目などに沿った生徒用の読み物資料です。

必要なページを適宜印刷し活用する、各教室でインターネット環境が整ったテレビやプロジェクターに映し出し活用する、地域の郷土資料と組み合わせた教材を作成し活用するなど、多様な活用方法が考えられます。

【埼玉県教育委員会】



◇「彩の国の道徳 中学校 自分をみつめて」

本県出身の偉人の生き方や伝統文化をはじめ、「規律ある態度」や情報モラル、公共マナー等を題材にした読み物資料が28編掲載されています。

また、「自分をみつめて」のコラムが9編掲載されています。

コラムの活用例や学習指導案等がまとめられた教師用の道徳教育指導資料集と一緒に活用することができます。



彩の国の道徳 道徳教育指導資料集



学級づくりの 羅針盤

～いま、道徳が「いじめ問題」にできること～



平成25年3月
埼玉県教育委員会

◇「彩の国の道徳『心の絆』、 「彩の国の道徳『学級づくりの羅針盤』」

「心の絆」には、東日本大震災を題材とした読み物資料を12編、「学級づくりの羅針盤」にはいじめの未然防止に活用できるような読み物資料を14編掲載しています。中学校用の読み物資料はどちらも5編掲載されています。冊子の後半にある学習指導案の略案を活用することができます。



◇「家庭用 彩の国の道徳」

主に読み物資料とコラムの2部で構成されています。読み物資料には、小・中・高等学校の「彩の国の道徳」の中から19編を掲載しています。中学校用の読み物資料は5編掲載されています。

活用例として、保護者参加型の道徳授業の実施や親子での話合いの推奨などが挙げられます。